

# 栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第59号

H27年①4710月発行



武雄市議会議員 宮本栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 12月議会(樋渡市長)の急な退職と議員報酬10%(約5万円)上げ 野党議員へのあいさつに驚く

市民の方が、12月議会ですぐに気が変わったのは、樋渡市長の突然の退職と議員報酬をはじめとする、特別職のいきなりの給料値上げだったのではないかと思います。

8年前の、市長就任当初より、国を目指されている話は聞いていたわけですが、昨年3月選挙の時には、「教育に命をかける」との話。また、タブレットの活用や官民一体教育も、朝自習の時間の小規模学校での着手といった不完全な状態で辞職されるとは思わなかった。

ただ、私としては、市長退職により、自由に物が言える様になるとの期待はあった。そして、12月3日の昼、議員控室の外には、今まで見た事のない、でっかい虹が出ていた。また、市職員も、笑顔が増えた様にも感じた。

議員の給料の約10%(5万円)の値上げについては、私は、議案の説明を受けるまでは、値上げの動きがあつて、事さえない知らなかった。たぶん、多くの議員さんも、寝耳に水だったと思います。

## 子育て支援の制度改正 学童保育の6年へ拡大は。

「子ども・子育て支援新制度」のH27年度からの導入に先立ち、市の条例の変更がされた。

①認可外の保育所などにも、国な

## 国保税の値上げの内容

今12月議会、国保税の値上げ議案が可決した。H27年度反映。

もう一度、国保について、説明すると、健康保険は、会社員などの、社会保険・公務員などの共済保険。そして、自営業者などの国民保険に分れていて、この国保について、市が運営している。

ただ、近年、国保の加入者の構成が、自営業者から、パートやアルバイトなどの非正規労働者及び退職者や高齢者を中心となつていて、保険料の収入に対し、医療費の支出が大きく、各自治体共通して、赤字状態にある。

そこで、各自治体での運営が難しくなつたため、H30年度を目途に国保の県運営に一本化して、対

応する方針が出され、それに向けて話し合いがなされている。今回の、国保税の値上げも、この県一本化を見据えたものです。私自身は、H25年度に値上げし、たばかりで、もう少し期間をおくべきかと思つていましたが、市から出された、今後の収支の状況を見ると、値上げせざるを得ない。

1億円 値上げ 再市費

	H25	H26	H27	H28	H29
単年	△6204	△1億	△1億	△1.2億	△1.4億
累積	△6.4億	△7.5億	△8.5億	△9.7億	△11億

国保収支予想

約1億円の赤字が続く、H29年度までに、約5億円の累積赤字が想定される。それにH25年度までの過去の赤字合計が6億円あり、県一本化前に、5億円+6億円の約11億円の赤字が残るとの試算。

## 11月臨時議会の報告 中学校のタブレット導入に 久々反対をした理由

中学校へのタブレット配付が、H27年4月から、始められるように、11月の臨時議会でも、契約の案件が出て来たと思う。

以前の栄八通信でも述べたように、私の考える、公立高校のタブレット活用につながるものでなく、小学校の、数学・理科を中心とした、予習型の宿題を入れて使う「反転学習」と同じスタイルで、中学校での導入で残念。

ただ、今回、議案にひさびさに反対したのは、「1社入札」で、各社の比較検討がされず、契約が結ばれた事への、批判の意味合いでの反対。

## 北方工業団地の補助金額変更とその後の大同メタル進出

11月の臨時議会で、北方工業団地の進出企業に対する補助金額の変更がされた。

具体的には、これまでの5ha 1億円・10haが3億円・全部が6億円となつていました。約17ha中、2haは、コスモス(株)に販売しているもので、全部というのではなく、その変更を兼ねて5段階に細分化し、販売促進をねらった改正。



現在、コスモスは建設中で7月操業予定。大同メタルは、来年6月操業開始を予定。

# 武雄保育所移転と 用地費1億7千万円の捻出

旧市立武雄保育所は、昨年4月より民営化になり、武雄保育園として運営されていた。

元々の目的は、武雄保育所の老朽化で、「耐震に対応していない」と10年以上前から言われていて、これを、いつまでも計画なく改築しないのは、行政の不作為だと指摘して、私自身懲罰にもかけられたりしたが、いよいよ移転新築へ。

今回予算化されたのは、新保育園の用地費で、これまで、民営化の引受け事業者には、市が土地を確保して、無償貸与をして来た。ただ、今回は、用地費を、全額補助する型を取るとの説明。

用地は、約2000坪で、約1億7千万円を支出する。7000坪は、国県が支出し、1億円を市が、支出する。(造成を含む)

ただ、土地の所有権が、法人名義になる為にも、もし保育所を止めたい時には、補助金返還を条件としていたとの説明。

一方、建設予定地が、現地の八並や近隣住民の多い、川良地区でなく、小楠の東部地区付近との事で、今後の東部開発による住民増加を考へての選択かと思う。

ただ、武雄小区域2園から、1保育園に減少する。そこで隣接していた、もう一つの光の園保育園を、川良方面に移転してもらい、送り迎えの利便性の良い保育所にしないと、住民サービスのバランスが悪く、武雄保育園移転が子育て支援に逆行する。

# 調べて分った！ 広域圏ホストコンピュータの全面交換

市税などの計算については、市役所横にある梓藤地区電算センターで行っている。メインのホストコンピュータがあり、H15年より再リースなどして使用していた。

10年を経て、更新が必要だが、色々な圧力によって、変な入札にならなければと期待と心配だった。

昨年末、調べてみると、すでにH26年1月にメインのコンピュータが更新されていた。

予算上、電算更新の費用が上ってなく気がかたかった。それは、新方式では、コンピュータ自体は、富士通が、設置し、その利用料金を支払うシステムで、本体の購入代金とという一時金がなくなっていたのだ。ちなみに、年間1億6千万円程度で、その内、武雄市は約5千万円で、機械の選定は、担当の職員で、伊万里市、鳥栖市を参考にしたりとの話。

# 給食室のエアコン 急に進む 約1000万円

前回の通信で、給食室のエアコン設置による、職場環境改善を、市が打出した際には、わずか2ヶ所、一ヶ所は中古品で対応するなど、言行不一致を言っていた。

今12月議会に、まだ、給食センター方式を取っている、北方町の学校をのぞき、全小中学校の給食室にエアコンを設置する予算が出た。

ちなみに、小学校は、1644万円で、中学校は、659万円の予算で、国県の補助はなく、公共施設整備基金をとりくずしての対応、ただ、今後、県等に、補助を提案する必要もあるのではと思う。

一方、これで問題が解決したかと思つたが、給食室は、大別して、洗浄室と調理室があり、今回の設置は、より高温になる洗浄室のみで、今後、調理室への対応も必要になると思われる。

また、北方への対応も必要。

# 競輪場の 改築スタートか。

私が、提案を続けていた、競輪場のリニューアルだが、庁舎より前に改築が進むもよう。

昨年、発注していた、基本設計が出来て来て、これが臨時議会で承認されれば、実施設計すなわち改築がスタートする。

たけお競輪を続けるとするならば、①耐震化②デジタル化③コンパクト化の為に改築は、絶対必要。

現実問題、競輪事業は、武雄の本場の開催は赤字。ただ、現在の競輪は、全国の競輪場や電話・インターネットが中心で、武雄競輪は、宮崎や、鹿児島にサテライトを作るなどして来たため、合計の販売量がある程度あるので、他の競輪場と、相互販売をしてもらっている。形は、なんとか黒字を出しているが、やはり、本場を小さくてもきれいに、イメージを良くする事と、他場開催の場外販売にも適した作りが必要状況。

# スカイパス のぼる君の廃止

保養村の宇宙科学館横にある、モノレール「のぼる君」だが、今議会でも、正式に廃止が決定した。

実は、老朽化の為に、昨年途中より運行は停止していた。

これは、元々、簡保の宿(センター)の附属施設として、ドイツのバーデンバーデンの温浴健康施設を参考に、アネックス(別館)スポーツランドを保養村内に誘致するに当り、簡保のお客を保養村のアネックスに運ぶ為に考え出された方策だった。だから、本来の目的は、カンポから「降る君」だったのかもしれない。

ただ現在、簡保から、四季の空と温泉旅館、そして現在民間高齢者施設となっていて、また、アネックスも郵政から、民間のリースポイントに変わっている。市が税金をつかっているのぼる君をリニューアルするのはおぼろしいかもしれない。ただ、これを保養村の再整備する契機としたい。

# H25年度決算 特別委員会 議論活発化を喜ぶ

委員会が終了した瞬間、ほかの議員から、「ひさびさに、議論が多く出た」との言葉を聞いた。

私も、内心、そう思つて心の中喜んでいたので、やはり客観的に見てもそうだったと確信した。

旧武雄市の時は、たとえば、H25年度の決算委員会での議論は、11月で、今H26年度に、生かす事はできないが、12月1月に行われる、H27年度の予算編成には反映できると言う型で、重要視されていない、一般質問をあまりしない議員さんも、結構質疑をされていた。ただ、合併後は、終わつた決算認定なので、不正がなければ問題は無いと言う雰囲気や、質問すると、市長に逆らっている様に取られる心配から、議論は少なかつた。そんな中、今回なぜ議論が活発だったかを考えると、委員長の力と思う。やはり、会議を形式的にしない為に委員長の考え方が左右する。

# 市営住宅の 管理・受付を 五光建設に委託

H21年に作成された、住宅マスタープランの柱の一つとして、市営住宅の管理を民間委託する事が打ち出されていたが、なかなか進まなかった。今12月議会でも、H27年4月から、委託する事が決定。ただ、27年度2月の募集は市が行う。

具体的には、提案入札で、市内の五光建設が、受注している。

一方、県営住宅については、数年前から、実施されている、武雄市などの、県西部地区は、伊万里市の川原建設が受注している、入居の受付や管理を、総合庁舎の駐車場に事務所を設置して対応してあり、利用者には便利な状況。

# 市長選と私の関係

一連の選挙については、全体像は、知るよしもないので、私の行動や知る範囲での状況を伝えたい。

11月中旬頃、樋渡市長が知事選に出馬して、その後継に議員の小松氏が市長選に出るとの話を聞いた。

山田氏なら分るが、小松氏は顔も知らなかったのが驚いた。

一方、私たち、野党議員6人は今回の市長選には、絶対に対抗馬を立てる事を11月25日に玄海町にふるさと納税と葉草園の視察に行つた時に意志統一した。

12月3日に議会が開会した朝、杉原議員が、市長選に出る様な話があつて、理由としては、市長は地元であるべき。また、派閥対立は止めないといけない。との主旨を聞いた。

私は、新武雄市になって、久々に胸のすく感動を覚えた。

ただ、衆院選の関係か、杉原氏が断念されたとの話を聞いて、野党も相乗りする予定だったので、残念で、ガツカリ。

そこで、野党議員としても、独自候補の擁立を目指す事となつた。まずは、石丸県議に出てもらえる様に動いたが、受けてもらえず。その後、選挙まで1か月を切っている。私に、栄八通信を市内1万以上配布しているのだから、生かして、勝負してくれとの話で、私自身も腹をくくつた。

ただ、そう決断させたのは、杉原氏の、派閥対立をなくしたいとの思いを引き継いでやってみようとの考えもあつた。それは、元々私が市議になったH7年に、派閥に属さない会派、フォーラム武雄を率田議員や高木議員などで結成したが、今は私一人になっていて、樋渡市政では、遠く忘れていた事が、もう一度原点にもどつて再チャレンジする機会を得たとも思つた。

それから、知事選の佐々木氏のように、まずは、つぶしに合わない為に、支持者等にも、対抗馬は必ず出すとしながらも、名前は言わない作戦で、打ち入り状態。

特に、新聞に、小松氏に、石丸県議や20人の議員が支持しているような誤報があり、ほとんどの市民が、無投票と思つていたと思う。

ただ、いつ議員辞職するかとの問題があつて、それは、市議補選の件で、選挙前10日以前なら補選が実施される。考え方としては、次期定数削減が決まつていて、給料も上つていて、市民の為に補選をしない形の辞職を選択。

そこで、12月18日の選挙説明会で表明する事としていた。

ところが、総選挙の次の16日の朝、谷口優氏から出馬したいとの連絡で野党議員が集つた。

私に、どうするか決断を求められたので、政策を取り入れてもらえば、一本化で良いとして決定。

すぐ谷口氏に、政策の一番目に杉原氏から引きつぐ、派閥をなくす、「オール武雄」を書き、これに女性や若者や地域を含めたオール武雄として提案した。

しかし、谷口氏の立候補の記者会見などから、オール武雄の才も派閥の、はも発言がなかった。

そこで、選挙の事務説明会に、サンタの服を着て出て行って、みんなの前で、オール武雄を引きつぎましたよを示したかった訳です。

サンタの意味合いは、選挙は栄八通信を読んでいる人ばかりでなく、10日程度で、若者にも、私の目指す所を知ってもらう為に考えたもので、①私が、明石家さんま(サンタ)と同じ59才であること。②サンタ自身はプレゼントできない、若い親など多くの人(市民)が協力して(オール武雄)作る街。③また、前市長の目指す日本一などのメディア戦略も引き継ぐが、サンタの衣装は1500円で、1億・2億と金をかけずにPRしないと長つづきしないとのメッセージでもあつた。

サンタの誓いは「オール武雄」